

第7節 人々の生活と魚類

1 人々と川魚の関わりとは

天竜川漁業協同組合では、1月～4月にかけて、アマゴやイワナの成魚を天竜川の主な支流に放流しています。10月～12月には、アマゴやイワナの発眼卵を支流に放流しています。また、諏訪湖のワカサギが有名ですが、箕輪ダムにもワカサギのふ化卵を放流しています。

川魚は貴重なタンパク源！



写真1 アユの煮付け料理

昔から上伊那の天竜川は、内陸部にあり海から遠い土地でしたので、川や湖で捕れる魚は貴重なタンパク源でした。江戸時代には、アマゴ、イワナ、ナマズ、ウグイ、オイカワ、カマツカ、カジカ、ヨシノボリ類、アカザ、アユなどの魚がすでに食用として利用されていたようです。千曲川や犀川ではサケが重要な漁獲対象であったのに対してサケの分布域からはずれた天竜川では、アユやウナギが重要な漁獲対象であったようです。

魚ではありませんが、すっかり珍味として定着しているザザムシも天竜川の恵みのひとつです。ザザムシを食べるのは上伊那地方に見られる食習慣ですが、こ

れはこの地域の天竜川が早瀬や平瀬が多くザザムシと呼ばれる水生昆虫らの生息に適した河川形態であることに裏打ちされています。

交通網、流通網が発達し、様々な食材が手に入る現在でも天竜川流域では川魚がよく食されています。この地方に特徴的な川魚の調理方法はないようです。また、以前はあった川魚料理の店もほとんど見られなくなりました。一般的な料理方法としては、イワナ、アマゴ、アユは塩焼きにして食べることが多いようです。また、アユ、ウグイ、ドジョウ、ヨシノボリなどの小魚は、砂糖と醤油を使って、甘辛く味を付けて食べられることがあるようです。

2 漁を楽しむ

うけやな
筥や梁



写真2 梁漁を楽しむ子供達

天竜川上流部では、昔から釣りが盛んに行われてきました。天竜川本流では、アユ釣りが、各支川では、アマゴやイワナをねらった溪流釣りが盛んに行われています。上伊那漁業組合では毎年、アマゴやイワナ、アユの稚魚を各河川に放流

して魚の資源保護を行っています。

長野県、特に天竜川では、河川に生息する魚を貴重なタンパク源として利用されてきました。古くから河川漁業が盛んに行われてきました。投網や釣りをはじめとして、川干し漁、ごろ曳き漁、千本突き漁、石積み漁など、魚の生態や生活史を利用して独特の漁法が行われてきたのです。現在では、魚の資源保護のため禁止されています。

しかし、長野県知事の許可によりいくつかの漁法が現在でも行われています。

梁漁は、産卵期のアユやウグイなどの魚が川を下る習性を利用した漁法です。



写真3 やなの様子



写真4 巨大ナマズ



写真5 大きく成長したアユ



写真6 コクチバス

長野県では、千曲川の梁漁が有名ですが、上伊那地方でも古くから行われてきました。戦後、梁を組む人が少なくなり見るができなくなりましたが、平成2年に中川村で復活し、翌年伊那市でも復活しました。（現在伊那市では行われていません）9月～10月頃まで行われ、アユ、ウグイ、フナ、鯉、ウナギなどの魚が捕れます。地元の園児や小学生などが訪れ、自然と触れ合うことができる貴重な場所となっています。

しかし、近年ではブラックバスやブルーギルといった外来種が数多く梁にかかるようになってきました。写真6は実際

に梁にあがったコクチバスですが、30cmをはるかに越えています。梁は天竜川本流の3分の1程度の水が流れるように、梁の方へ川を分けて流します。2015年度、梁に上がったコクチバスは約1ヶ月で7匹となっています。ブラックバスはもともと流れの緩やかなところを好む習性がありますので、本流の淵やワンドなどには、30cm以上になるような

2015年捕獲数

	1	2	3	4	5	6	7	
	鮎	うなぎ	鯉	ナマズ	雑魚	ブラックバス	ブルーギル	備考欄
9/13~9/19	178	0	2	3	249	1	1	
9/20~9/26	58	0	0	1	80	4	0	
9/27~10/1	9	0	1	0	15	2	0	
合計	245	0	3	4	344	7	1	

10月1日に台風のため、やなが破損



コクチバスがかなりの数、生息していると考えられます。

「釜漁」は、竹を加工して「釜」とよばれるカゴのを作り、魚の通り道に沈めておく漁法です。天竜川本流から分かれている浅瀬で流れが緩やかな場所を選び「釜」を設置します。「釜」は中に入ってきた魚が出られないようなつくりになっています。カゴは独特の製法があり、細く切った竹を筒状に編んで作りますが、作れる方も少なくなっています。

写真9のように川の流れに逆らうよ



写真9 浅瀬に設置したカゴ

う、下流に向かってカゴの入り口を沈め、カゴのまわりに魚をおびきよせる石を並べておくのが特徴です。魚がどのように泳ぐのか予想して、どこにカゴを置くのか考えるのもこの漁法の大変面白いところです。

2014年捕獲数

写真8	1	2	3	4	5	6	7	
	鮎	うなぎ	鯉	ナマズ	雑魚	ブラックバス	ブルーギル	備考欄
9/10~9/16	47	1	0	0	22	1	1	
9/17~9/23	63	0	0	2	22	0	0	
9/24~9/30	80	1	2	2	150	3	2	
10/1~10/7	80	0	0	3	240	2	1	
10/8~10/14	46	0	2	1	222	11	0	
10/15~10/22	15	0	0	0	204	10	0	
10/23~10/31	2	0	2	0	90	5	0	
合計	333	2	6	8	950	32	4	

雑魚は、ウグイ、オイカワなど



写真7 梁にあがった鯉



写真10 カゴを沈めた様子

アブラハヤ、ドジョウ、シマドジョウ、ウグイ、カワヨシノボリ、ナマズ、カマツカなど、多くの種類の魚が捕れます。魚は、川の流れに対して逆らって泳ぐ習性があり、この性質を利用した漁法と言ってよいでしょう。

しかし、地元で漁をされている方の話では、昔に比べると魚の数が減少傾向にあるとお聞きしました。自然豊かな環境をいかにして守っていくことができるか考えていかななくてはなりません。



写真11 ウケに入ったナマズの稚魚

体長10cmほどのナマズの子どもです。ナマズは大きくなると60cmくらいまで成長します。体にウロコがなく、粘液による滑りが強い魚です。夜行性でカエルやドジョウなど他の魚を丸呑みにして食べます。



写真12 ウケに入ったシマドジョウ

口ひげがドジョウよりも4本少なく、6本あるのが特徴です。また、体に不規則な斑紋があります。砂底があるところを好みます。スナドジョウ、ゴマドジョウなどと呼ばれています。



写真13 カマツカ

上伊那ではズコンボ、ズッコンボ、バカツカと呼んだりします。1対の口ひげがあり、砂の上をはうようにしながら水生昆虫などを食べる底成魚です。天竜川でよく捕れますが、敬遠される魚です。



写真14 カワヨリノボリ

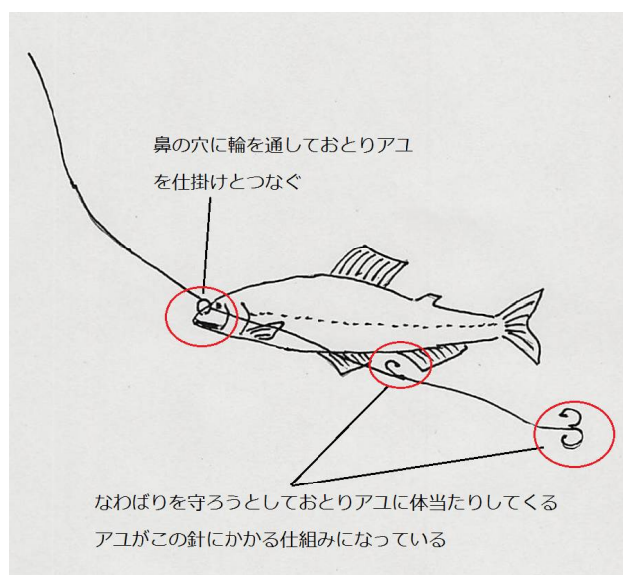
天竜川を代表する底成魚です。底生動物や付着藻類を食べて生活しています。ヨナカジカなどと呼ばれている魚です。

天竜川での釣りの方法

天竜川上流部では、前述のように昔からタンパク源として川魚に対する関心が高く、釣りも盛んに行われてきました。ここでは代表的な方法をいくつか紹介します。

アユの友釣り

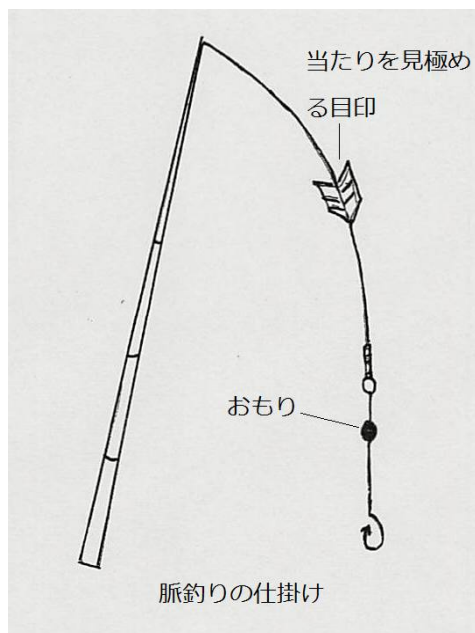
この釣りは、アユが持つ「なわばり」の習性を利用した方法です。アユは、川底の石に付着したコケを餌にして大きく育つ魚です。食性が動物でなく植物なので、きゅうりのような臭いがするととても美しい魚です。餌で釣るのではなく、自分のなわばりに進入してくる他のアユを攻撃するとき、体当たりしてくるような行動をとります。友釣りはこの習性を利用した釣り方になりますので、おとりアユに針をつけ、アユがなわばりを張って、いそうなところにおとりアユを誘導して泳がせると体当たりしたアユが針にひっかかるしくみです。（下図参照）



脈釣り

針の上におもり、その上に当たりを見

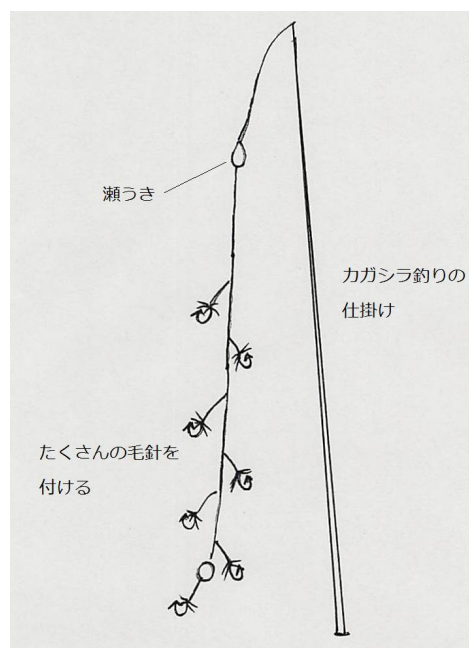
分けるための目印をつけた仕掛けを川の上流から下流に向けて餌を流し、魚を釣り上げる方法です。上伊那地方の溪流では、川幅の狭いところでは、この方法が主流になります。餌は、ミミズや川底にいるカワゲラなどの虫を使うとよく釣れます。対象魚は、イwanaやアマゴ、オイカワ、ウグイなどです。



毛針釣り

針に野鳥などの毛を巻いて、虫に似せた疑似餌を使い魚を釣る方法です。この地方では昔からテンカラ釣りやカガシラ釣りなどの方法が行われてきました。カガシラ釣りの仕掛けは、大型スーパーなどでも販売されているので、竿さえあれば手軽に親しむことができる釣り方です。夕方日の暮れる頃、川の水面を虫が飛び回るところに合わせて釣ると、一度に2, 3匹釣れることがあるので釣りの醍醐味を味わうことができる釣り方です。しかし、最近ウグイやオイカワなどの魚が減少しているのか、この釣り方でもあ

まり釣れないことが多くなってきました。



その他の釣り

その他の方法として、うき釣りや吸い込み針を使った釣り方などがあります。うき釣りは、脈釣りの目印のところをうきにして、仕掛けをうきによって浮かせながら流して釣る方法です。ウグイ、オイカワ、鯉、フナなどを釣ることができます。また、吸い込み針を使った方法では、リールと専用の竿を用意し、練り餌で吸い込み針を包み込み、天竜川本流の深い淵のような所に投げ込み大物の魚（主に鯉など）を狙います。鯉やウグイ、フナなどを釣ることができます。

また、最近ではルアーを使って天竜川本流で大きく成長したニジマスやアマゴ（上伊那地域では、天竜差しと言ってパーマークが消えるほどの大物）を狙う釣り人も増えてきました。ブラックバスなどの外来種の増加にともない、バス釣りをする人もかなり見かけるようになってきました。

3 水田と魚の関係

田んぼから魚が消えた今から40年ほど前は、水田の間を流れる用水路は魚だけでなく、多様な生き物が見られました。また、水田では鯉の稚魚を飼うことで雑草の駆除を行ったりもしていましたので、現在ほど農薬等の影響はなかったと考えられます。



写真14 近代的な用水路（中川村田島）

近年天竜川等で行われている大規模な河川改修工事だけでなく、その周辺における水田地帯を流れる用水路についても、どの地区においてもコンクリートを使った工事を行うことにより、昔から多くの魚が生息できた環境がかなり変化してきています。コンクリートを使うことにより元々そこにあった水生植物が大幅に減少し水の流れが速くなることで、緩やかな流れを好む魚には住みづらい環境にな



写真15 用水路で生活するアブラハヤ

ってきているようです。

また、用水路と水田の間に段差を作ってしまったことで、コイやナマズなどの魚が水田や用水路を行き来することができなくなってしまいました。そのような中でも、アブラハヤ、ドジョウなどが主に見られます。水路と水路が交差して、水が落ち込んでいるような場所に多く見られます。



写真 1 6 生態系豊かな伊那市西春付近の水路

写真 1 4 の場所では、カナダモなどの水草がたくさんあり、流れが緩やかで泥が深くたまっているところもあり魚が隠れるには絶好の場所になっていました。タモ網を使って 3 0 分で 5 0 匹ほどのドジョウが捕獲できました。また、絶滅危惧種にもなっているヤツメウナギも生息していました。また、天竜川とつながっているためか、このようなところにも 5 c m 程度のコクチバスの稚魚が、ときどき見られます。

4 川魚の激減はなぜ？



写真 1 7 川を泳ぐカワウ

近年天竜川に生息する魚食鳥類として、その生態から特に危惧されているのが、カワウです。カワウは、昔本州の海岸に近いところで繁殖していましたが、全国で数が激減し、狩猟が禁止されました。その後、個体数が急激に増えてきました。もともと天竜川下流部にいたものが、上流部まで生息地を広げてきたと考えられます。カワウは黒色で、大型の鳥で、魚を主食としています。有名な長良川の鵜飼（鵜飼いではウミ鵜を使っています）で魚を捕る様子をテレビで見たことがある人もいると思います。

大きな群れをつくって飛ぶときにはV字型になり飛びます。以前は、駒ヶ根市の吉瀬ダム付近をたくさんのカワウがねぐらにしていたことがありますが、現在ではあちらこちらの場所ををねぐらにしているようです。カワウは、1日に1羽あたり500g以上の魚を補食して生活しています。アユだけでなく、ウグイやオイカワなどの魚を好んで食べます。1匹あたりに捕食する魚の量が大変多いことを考えると、ブラックバス等の外来魚よりも生態系に多大な影響を与えているかもしれま

せん。

その他の鳥の仲間としては、コサギやアオサギなどが上伊那地方でも多く見られるようになってきました。昼間、水田地帯でじっとしている様子を確認することができます。中には、民家の近くまで飛来して、池にいる鯉などの稚魚などを食べにくることもあります。

【執筆者】 大原 均 北島茂充

【写真提供】 天竜川リゾートサービス
柳生将之
美馬純一

【参考・引用文献】

(1)建設省中部地方建設局天竜川上流工事事務所 1999「天竜川上流の主要な魚」
天竜川上流工事事務所 調査課

(2)齊藤憲治・内山りゅう 2015「くらべてわかる淡水魚」 山と溪谷社

(3)片野修「カワムツの夏」 京都大学学術出版会

(4)細谷和海・内山りゅう2015「日本の淡水魚」 山と溪谷社

(5)長野県自然教育研究会「信州の希少生物と絶滅危惧種」 信濃毎日新聞社

(6)片野修(2014)河川中流域の魚類生態学.学報社

(7)武居薫(2007)[総説]諏訪湖魚類目録を検証する・長野県水産試験場研究報告第9号

(8)山本聡(1991)イワナその生態と釣り. 釣り人社

(9)片野修ら(2014)国内外来魚カワムツ *Nipponocypris temmincki* の分布拡大. 魚類学雑誌61(2):97-103

(10)大原均(2008)長野県南部地方におけるカワムツ *Zacco temmincki* の分布拡大に関する研究. 平成19年度長野県科学研究費助成金発明・研究等成果内容書. 長野県科学振興会. 長野. 10pp.

(11)大原均(2011)もうすぐカワムツが天竜川水系を制圧する? 伊那谷の自然:157:2-

(12)中部地方整備局中部技術事務所(2006)中部の河川魚類図鑑

(13)美馬純一(2007)長野県内の天竜川におけるハゼ科魚類の分布状況について. 飯田市美術博物館自然部門地域史研究事業ニュースレター HEUREKA! INADANI : Vol.14

(14)柳生将之(2007)長野県内の天竜川におけるカジカ *Cottus pollux* の分布現況. 飯田市美術博物館自然部門地域史研究事業ニュースレター HEUREKA! INADANI : Vol.14

(15)片野修ら(2015)移入河川におけるオイカワの豊富さと藻食に対するアユの影響. 魚類学雑誌62(2):99-105

5 やなにおける魚の種類と捕獲数

平成24年

	1	2	3	4	5	6	7		
	鮎	うなぎ	鯉	ナマズ	雑魚	ブラックバス	ブルーギル	備考欄	
9月11日	13	0	0	5	0	0	2	晴れ	
9月12日	1	0	0	0	9	0	0	晴れ	
9月13日	0	0	0	0	4	0	0		
9月14日	1	0	0	0	5	0	0		
9月15日	0	0	0	0	1	0	1		
9月16日	5	0	0	0	1	0	1		
9月17日	6	0	0	0	0	0	0		
9月18日	33	0	1	4	42	0	0		
9月19日	60	0	0	5	90	0	6		
9月20日	9	0	0	1	20	0	1		
9月21日	2	0	0	0	20	0	0		
9月22日	4	0	0	0	23	0	1	曇り後雨	
9月23日	49	0	0	8	450	0	1		
9月24日	14	0	0	0	50	0	0		
9月25日	13	0	0	0	14	2	0		
9月26日	17	0	0	1	20	0	0		
9月27日	5	0	0	0	2	0	3		
9月28日	5	0	0	0	20	0	0		
9月29日	0	0	0	0	0	0	0		
9月30日	19	0	0	10	50	0	0	ニジマス1	
10月1日	100	7	2	2	30	1	0		
10月2日	35	0	0	0	23	0	3		
10月3日	41	0	0	1	12	0	4		
10月4日	12	0	0	1	0	0	0		
10月5日	9	0	0	0	3	0	0		
10月6日	1	0	0	0	0	0	0		
10月7日	13	0	0	0	8	0	0	ザリガニ1	カジカ1
10月8日	11	0	0	0	0	0	0		
10月9日	4	0	0	0	0	0	0		
10月10日	10	0	1	1	3	1	0	ニジマス1	
10月11日	3	0	0	0	1	0	0		
10月12日	5	0	0	0	5	0	0		
10月13日	0	0	0	0	10	0	0		
10月14日	2	0	0	0	1	0	0		
10月15日	3	0	0	0	1	0	0		
10月16日	3	0	0	0	1	0	0		
10月17日	30	1	0	5	60	0	1		
10月18日	20	0	3	3	60	0	4	ザリガニ2	
10月19日	15	0	26	1	90	2	4		
10月20日	21	0	0	0	50	0	0		
10月21日	5	0	0	1	30	0	0		
10月22日	1	0	0	0	8	1	0		

10月23日	0	0	0	4	100	1	0		
10月24日	2	0	0	2	56	0	0		
10月25日	0	0	0	0	76	0	0		
10月26日	1	0	0	1	13	2	0		
10月27日	2	0	0	0	21	0	0		
合計	605	8	33	56	1483	10	32		

平成26年

	1	2	3	4	5	6	7		
	鮎	うなぎ	鯉	ナマズ	雑魚	ブラックバス	ブルーギル	備考欄	
9月10日	2	0	0	0	3	0	0		
9月11日	14	0	0	0	7	0	0		
9月12日	16	0	0	0	1	0	0		
9月13日	5	0	0	0	1	0	0		
9月14日	4	0	0	0	3	0	0		
9月15日	3	1	0	0	5	0	1		
9月16日	3	0	0	0	2	1	0		
9月17日	1	0	0	0	1	0	0		
9月18日	7	0	0	0	4	0	0		
9月19日	10	0	0	0	1	0	0		
9月20日	13	0	0	0	1	0	0		
9月21日	12	0	0	1	3	0	0		
9月22日	8	0	0	1	1	0	0		
9月23日	12	0	0	0	11	0	0		
9月24日	15	0	0	1	18	1	1		
9月25日	9	1	0	0	20	0	0		
9月26日	34	0	0	0	6	0	0		
9月27日	12	0	0	0	65	0	0	ヤマメ1	
9月28日	4	0	2	0	20	2	1	フナ多数	
9月29日	4	0	0	1	20	0	0		
9月30日	2	0	0	0	1	0	0		
10月1日	0	0	0	0	2	0	0		
10月2日	0	0	0	0	1	0	0		
10月3日	1	0	0	0	4	2	0		
10月4日	0	0	0	0	3	0	0		
10月5日	19	0	0	3	130	0	1		
10月6日	0	0	0	0	0	0	0		
10月7日	60	0	0	0	100	0	0		
10月8日	8	0	0	0	20	3	0	アマゴ1	
10月9日	4	0	0	0	7	6	0		
10月10日	0	0	0	0	5	0	0		
10月11日	6	0	0	0	10	1	0		
10月12日	14	0	0	0	10	0	0		
10月13日	5	0	0	0	50	0	0		
10月14日	9	0	2	1	120	1	0		
10月15日	10	0	0	0	100	1	0		

10月16日	4	0	0	0	20	2	0		
10月17日	0	0	0	0	12	2	0		
10月18日	1	0	0	0	18	0	0		
10月20日	0	0	0	0	12	1	0		
10月21日	0	0	0	0	15	2	0		
10月22日	0	0	0	0	27	2	0		
10月23日	2	0	0	0	50	1	0		
10月24日	0	0	1	0	1	0	0		
10月25日	0	0	0	0	11	0	0		
10月26日	0	0	0	0	3	2	0		
10月27日	0	0	0	0	3	1	0		
10月28日	0	0	1	0	2	0	0		
10月29日	0	0	0	0	0	1	0		
10月30日	0	0	0	0	10	0	0		
10月31日	0	0	0	0	10	0	0		
合計	333	2	6	8	950	32	4		

平成27年

	1	2	3	4	5	6	7		
	鮎	うなぎ	鯉	ナマズ	雑魚	ブラックバス	ブルーギル	備考欄	
9月13日	80	0	0	1	150	1	1		
9月14日	26	0	0	1	10	0	0		
9月15日	30	0	2	0	30	0	0		
9月16日	10	0	0	0	15	0	0		
9月17日	6	0	0	1	15	0	0		
9月18日	17	0	0	0	15	0	0		
9月19日	9	0	0	0	14	0	0		
9月20日	4	0	0	1	10	1	0		
9月21日	5	0	0	0	0	0	0		
9月22日	3	0	0	0	12	0	0		
9月23日	1	0	0	0	6	0	0		
9月24日	0	0	0	0	2	0	0		
9月25日	23	0	0	0	30	1	0		
9月26日	22	0	0	0	20	2	0		
9月27日	5	0	0	0	0	2	0		
9月28日	0	0	1	0	2	0	0		
9月29日	1	0	0	0	3	0	0		
9月30日	0	0	0	0	0	0	0		
10月1日	3	0	0	0	10	0	0	やな破損	
合計	245	0	3	4	344	7	1		